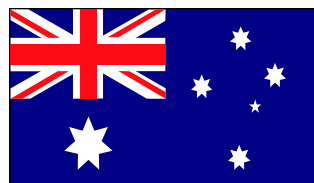
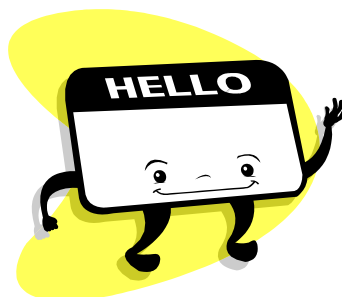


# Pre-departure Orientation Material

## ELICOS & Customised Program



### オーストラリアの基礎知識

#### 1. オーストラリア

地球上で最も小さな大陸で、面積は、ロシア、カナダ、中国、アメリカ、ブラジルにつぎ、世界で6番目に広く、人口は2100万人程度です。6つの州と2つ特別準州、特別地域に分かれて行政責任を分担しています。

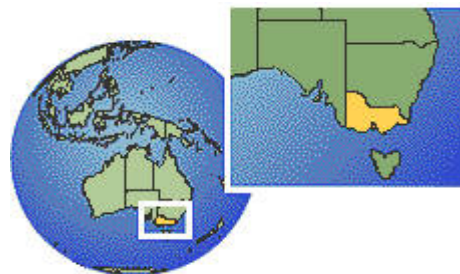
オーストラリアは様々な背景を持った人々でつくられた国です。  
オーストラリアの4人に1人は移民又は少なくとも両親のどちらかが外国出身です。  
およそ 15%の家庭では英語以外の言葉話しています。

#### 2. ビクトリア州

モナシュ大学はビクトリア州 (VIC) にあります。  
ガーデンステートといわれるほど緑が豊かです。2番目に小さな州ですが、人口はNSW州に次いで2番目に多く、人口密度は最も高い所です。州の人口約500万人。

#### 3. メルボルン

州都メルボルンはシドニーについて2番目に大きな都市で、2004年には、英国の経済誌「エコノミスト」により、“世界で一番住みやすい都市”に選ばれました。ガーデンステートといわれるほど緑が豊かです。ヨーロッパ調な街並みが残り、異国情緒豊かな街として知られています。市の中心部「シティ」は、基盤の目のように区画されていて、初めてでも歩きやすい街並みです。



1956年には、南半球で初めてオリンピックが開催されました。州民のスポーツに対する熱狂振りは有名で、1月にはテニスの全豪オープン、3月にはF1 グランプリ、11月には国内最大の競馬「メルボルンカップ」など世界的にも有名なイベントがたくさん行われています。

- ◆ 正式国名: オーストラリア連邦 (Commonwealth of Australia)
- ◆ 国家元首: 英国女王エリザベス II 世
- ◆ 首都: キャンベラ
- ◆ 面積: 770平方キロ(日本のおよそ20倍)
- ◆ 人口: 約2100万人 (日本のおよそ6分の1)
- ◆ 通貨: オーストラリアドル / 1ドル=100セント  
(ポリマー幣: A\$5/10/20/50/100、硬貨: A\$1/2、A¢ 5/10/20/50)
- ◆ 日本との時差: エリアによって異なります。
 

日本時間	+1 時間	(VIC/NSW/ACT/QLD/TAS)
日本時間	+30 分	(SA/NT)
日本時間	-1 時間	(WA)

Daylight Saving (夏時間) をとり入れている州もあります。ヴィクトリア州もその1つで、年によって異なりますが、通常、10月の最終日曜日から翌年3月の最終日曜日まで、時計の針を1時間進めます。この間の日本との時差は2時間となります。

\* 人口: 2008年1月7日現在の数字、ABS (Australian Bureau of Statistics)より

#### 4. 天気

日本とは季節が逆で、春は9～11月、夏は12～2月、秋は3～5月、冬は6～8月です。

メルボルン	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均 最高気温	25.8	25.8	23.8	20.2	16.6	14	13.4	14.9	17.2	19.6	21.8	24.1
平均 最低気温	14.2	14.5	13.1	10.7	8.6	6.8	5.9	6.6	7.9	9.4	11.1	12.8
湿度 (午後3時)	47%	49%	50%	55%	61%	65%	63%	58% %	54%	52%	51%	49%
降水量(mm)	48.2	47.0	50.6	58.2	56.6	49.8	47.9	50.3	58.7	67.4	59.3	59.1
季節	夏		秋			冬			春		夏	

Source: Bureau of Meteorology

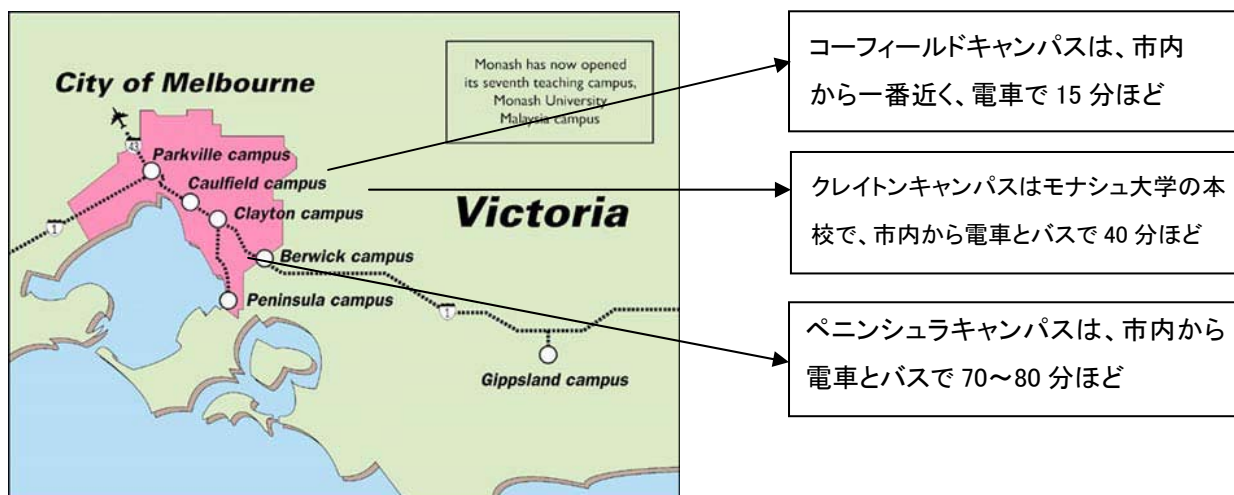
#### 5. 国内移動

- メルボルン⇄シドニー: 距離872km / バス14時間30分、飛行機1時間20分
- メルボルン⇄ブリスベン: 距離1674km / バス 27時間30分
- メルボルン⇄アリス・スプリング: 距離2264km / バス32時間

## モナシュ大学

### Monash University:

オーストラリア滞在中の皆さんの学び舎となるモナシュ大学は、オーストラリアで最も規模の大きな大学で、約5万9千人が通っています。そのうち、35%が海外からの留学生です。ヴィクトリア州内に6つのキャンパスがあります。また、マレーシア、南アフリカにもキャンパスがあり、国際色豊かな大学でもあります。(Student figures are based on 2009 end-of-year data)



## Customised Program

カスタマイズプログラムと呼ばれる語学研修プログラムは、クレイトンキャンパス、コーフィールドキャンパス、ペニンシュラキャンパスのいずれかでされている、テーラーメイドのプログラムです。

## ELICOS Program

エリコスプログラムと呼ばれる語学研修プログラムは、コーフィールドキャンパスで行われています。Monash University English Language Centre (MUELC)のGeneral English Course (一般英語コース)に入り、他国の留学生と一緒に、自分の英語レベルにあったクラスで学びます。

### プログラム

- 5週間が1コース(コーススタート日はあらかじめ決まっています)
- 授業: 1週間の授業時間は25時間(自己学習時間含む)。そのうち12時間がCore Moduleと呼ばれる一般英語の授業。8時間がSpecialist Skills Moduleと呼ばれる選択科目です。
- Specialist Skills Module: 8時間の選択科目は、TOEFL Preparation, Academic Skills, Effective Speaking & Communication, Business Englishです。上記選択科目を入学時に選びます(レベルや時期によって選択科目が異なります。また、必ずしも第一希望が通るとは限りません)。
- レベル: 一般英語コース(General English)は5つのレベル

## Monash College Pty Ltd

Monash College Pty Ltd は Monash University の法人です。Monash College や語学学校ならびにグループ語学研修を担当する Monash University English Language Centre (MUELC)、ホームステイの手配を担当する部署などで構成されています。皆さんのお世話は、主にグループ語学研修のスタッフが担当します。

### グループ語学研修に含まれるもの

1. 空港送迎手配
2. 日本語でのオリエンテーション(メルボルン到着日あるいは研修開始日)
3. ホームステイホストの手配・相談
4. 24 時間緊急連絡体制
5. バイリンガルサポート/日本の学校への報告
6. 授業全体の手配

### 今後の情報について

皆さんのコース開始日のおよそ1ヶ月前に、大学やホームステイ先での注意事項などの詳細な情報、“オリエンテーションマテリアル”を皆さんの大学を通してお送りします。必ず、目を通してオーストラリアに来てください。

### 留学生活で大事なこと

“受身ではなく能動的に行動する”、“積極的に物事に対処する”姿勢 です。

英語ができないからと部屋に閉じこもることなく、ホームステイホストとの会話にどんどん参加しましょう。

ホームステイは英語上達の最高の場です。授業で学んだ単語や文章をホームステイ先で使ってみるなど、「記憶した英語」を「使える英語」にするよう努力してください。プログラム終了時には驚くほど英語力が高まっているはずですよ。



また、ホームステイホストは皆さんのオーストラリアの家族です。ホームステイ先で問題があるときや悩み事がある時はできるだけ早い段階で自分から家族に相談を持ちかけてみましょう。家族内のことを家族とともに解決するというのは当たり前のことであり、ホームステイホストも皆さんの声に耳を傾けてくれるはずですよ。

自己主張をしっかりとしてください。よくわからない事でもいいかげんな返事をするよりは“I don't understand”といい、説明してもらうようにしてください。わからないこと、知らないことは決して恥ずかしいことではありません。又、気になっている事や、希望をはっきりと相手に伝えてください。日本人のような“相手の気持ちを察する”という事は皆無だと思ってください。「自分はどうしたいのか」「どう思っているのか」「なぜ、そう思うのか」など、最近日本語でもなかなか言えない学生もいます。出発前までに自分の考えをまとめる訓練をしてみましょう！きっと役に立ちます。

## ホームステイの意義

ホームステイホストは皆さんのオーストラリアでの家族となります。ホームステイは異文化理解と生きた英語を同時に学べる絶好の機会です。Monash College Pty Ltd のホームステイホストは皆さんを‘お客様’ではなく‘家族の一員’として迎えます。ホームステイを通して、英語のみならず、文化、価値観、習慣の違いなど学ぶ点はいろいろです。

オーストラリアは移民の国であり、皆さんのホームステイホストも様々な文化背景を持っています。この国では人の年齢、容姿、性別、国籍、宗教、婚姻状況等で判断をするのは差別にあたり、法に触れることでもあります。したがって、上記の理由によるホームステイ変更はいたしかねますことご理解ください。

ホームステイホストの選考方法やホームステイホストの家族構成、ペットの有無、ホームステイ先での喫煙に関する情報は、“Selection Procedure for Homestay Hosts” という書類に記載していますので、必ず目を通してください。

## 水不足

オーストラリアでは「水」は貴重な資源です。メルボルンでも長い間深刻な水不足に悩まされており、普段の生活にも様々な規制があります。皆さんもホームステイ中は節水を心がけてください。シャワーの時間を5分間以内に抑えたり、洗濯物をまとめてしたりする等、「水＝貴重で、限りある資源」という意識を持つようにしてください。

[www.melbournewater.com.au/default.asp](http://www.melbournewater.com.au/default.asp)  
[www.ourwater.vic.gov.au/](http://www.ourwater.vic.gov.au/)

## 保険・薬に関して

### a) 海外旅行保険

皆さんの加入している海外旅行傷害保険のしおりを事前に読んできてください。

#### 病気—海外旅行保険がきかないもの

歯に関しては全く保険が利きませんので、日本で前もって治療を受けておくといいいでしょう。コンタクトレンズも保険対象外です。コンタクトや眼鏡を使用する人は、予備のものを用意しておくといいいでしょう。

### b) 薬&持病・病歴

#### \* 医療品持ち込みに関して

医療品をオーストラリアに持ち込むことは厳重に規制されており、到着時に手荷物エリアの赤カウンターで申告しなければなりません。

(オーストラリア大使館 Web より)

医療品の持込に関しては、下記のサイトに詳細が記載されていますので各自で確認してください。

#### 【オーストラリア関税部】

[www.australia.or.jp/seifu/customs/](http://www.australia.or.jp/seifu/customs/)



**\*いざと言うときのために**

持病や過去に大病をした経験がある人は、疾病に関する英語での説明(必要な場合は医師による英語の診断書)をお持ちください。オーストラリア到着時にホームステイホストにも内容を確認してもらい、いざという時のために、ホームステイホストが皆さんの体調を理解しやすい環境を作っておく必要があります。ホームステイの申込書にもその旨記入して下さい。

### 持ってくると便利なもの

- サングラス                    紫外線は日本の4倍から10倍とされています。
  - 帽子
  - 折りたたみ傘                メルボルンは1日の天候が変わりやすい所です。急に雨が降ったりしますので必ずお持ち下さい。
  - 薬用リップ                 空気が乾燥しています。一本あると便利です。
  - 日焼け止め                 自分の肌にあった、使い慣れたものの方が肌のトラブル防止のためにもなります。
  - メモリースティック       プレゼンテーション用にパワーポイントを使用する場合、メモリースティックやipodを持参すると便利です。
- **ジャンパーのような厚手の上着**  
夏でも、ジャンパー、フリースのような厚手の上着を必ず1枚持ってきてください。メルボルンは日中の気温差が激しい所です。夏でも朝はかなり冷え込みます。又、なるべく重ね着できるものをご用意下さい。



### コンピューターについて

日本からパソコンをお持ちになる際は以下のことをご注意ください。

パソコンメーカーや量販店などに確認し、あらかじめ必要なものの準備をして下さい。

- ①電源電圧・コンセントの形状が異なります⇒ 220～240V 使用かどうかご確認下さい。
- ②海外用のモデムか？⇒ あわないものを使用するとアダプタやモデムだけではなく、パソコン本体も壊れてしまう可能性があります。
- ③プロバイダー                ⇒ ローミングするのにもメルボルンに中継点があるかどうか？費用は？など。

ブロードバンドが進む日本と違い、まだ多くの家が電話回線を使用しています。そうすると、家族の電話の使用時間外でしか使えなくなるでしょうし、電話代も自己負担です。家族に許可も必要です。メルボルンでプロバイダー契約をしていただいても構いませんが、**自分の力で探して契約をしてください。**

- プロバイダーによってはWEBMAILサービスを行っているところがあります。
- ワードやエクセルの使用のためには(インターネット以外)①のみ気をつけてください。



## 情報収集

- ◆ **Monash University:** [www.monash.edu.au](http://www.monash.edu.au)
- ◆ **Victoria Tourism (ヴィクトリア州観光局):** [www.visitmelbourne.com](http://www.visitmelbourne.com)
- ◆ **Australia Embassy in Japan (オーストラリア大使館):**  
【東京(+813)5232 4111】 [www.australia.or.jp/seifu/embassy/index.html](http://www.australia.or.jp/seifu/embassy/index.html)
- ◆ **オーストラリアの検疫サイト** [www.australia.or.jp/seifu/aqis/](http://www.australia.or.jp/seifu/aqis/)

オーストラリアは、環境だけでなく、動植物や人間の健康にも影響を与える恐れのある危険な害虫や病原体の侵入を防ぐことを主な目的に入国の際に検疫を行っております。

オーストラリア大使館の“検疫サイト”では、以下についての詳しい情報が記載されています。各自でご確認下さい。

- オーストラリアに持ち込めないもの
- オーストラリアに郵送できないもの
- 検疫に関する“よくある質問”

## よくある質問

### Q 1. ホームステイ先とキャンパスの間の交通手段は？

公共交通機関にて通学して頂きます。公共交通機関は電車、バス、トラムの3つがあります。交通費は自己負担です。ホームステイホストの所在地によって通学時間は異なりますが、バスを待つ時間なども含めておおよそ1時間前後だとお考え下さい。

オーストラリアは週末はバスの本数がゼロとなる地域も多いです。日本のように頻繁にバスはありません。(殆どの学生が不便だと言うことでしょう！)  
メルボルンは2つのゾーンに分かれており、交通費が異なります。

### ゾーン地図

<http://www.metlinkmelbourne.com.au/maps-stations-stops/metropolitan-maps/metropolitan-train-network-map/>

地図の黄色がゾーン1、青がゾーン2です。(コーフィールドキャンパスはゾーン1に、クレイトンキャンパス、ペニンシュラキャンパスはゾーン2にあります)

### 料金表リンク

<http://www.metlinkmelbourne.com.au/fares-tickets/metropolitan-fares-and-tickets/metcard-fares/>

交通費は、ホームステイホストの家がどこにあるかで異なってきますが、コーフィールドキャンパスの場合、ゾーン1あるいはゾーン1+2、クレイトンキャンパス、ペニンシュラキャンパスの場合、ゾーン2が多いです。上記サイトで、Daily、Weekly、あるいはMonthlyにて、それぞれのゾーンの料金を確認ください。因みに、学割はありませんので、料金は Adult(Full Fare)になります。

## Q 2. お土産は何をもっていけばいいですか？

日本的なものはもちろん喜ばれますが、基本的に高価なものではなく気持ちでかまいませんし、ステイ先のメンバーそれぞれにお土産を用意する必要もありません。お煎餅や梅キャンディーなど、話題づくりに一役買うお菓子もいいアイデアになるでしょう。尚、食物を持ち込むことについては入国の際、空港にて必ず申告をしなければなりません。その際に、綺麗に包装されたお煎餅などの包装紙は、無残にもびりびりにされ、中身をチェックされることがあります。

## Q 3. 水道水は飲めますか？

問題なく飲むことができます。

## Q 4. ノートパソコンを持参する場合、何か注意や制限などありますか？

ブロードバンドが進む日本と異なり、まだまだ電話回線を使用している家庭も多いです。ステイ先で一本しかない電話線を借りてインターネットをする場合は、家族が電話を使用しない時間帯で接続させてもらうこととなります。ただし、その場合は、どのプロバイダーをしようするのか、ローミングの料金など、きちんと調べ、ご自分の力でセッティングしていただくこととなります。(MUELC はお手伝いしません) また、電話代は個人でホームステイホストに支払うこととなりますので、ローミング先が市内料金なのかどうかなども調べなくてはなりません。通常、4 週間ほどの日程ですと、ワードを使用する場合は別ですが、インターネットの接続のためにノートパソコンを持ってくる学生は少ないです。

## Q 5. キャンパスには何がありますか？

キャンパスによって異なりますが、カフェやテイクアウト(軽食)のお店があります。他にスポーツ施設、本屋、ATM など。クレイトンキャンパスは構内に、他のキャンパスはキャンパス近くに銀行があります。

コーフィールドキャンパスの地図	<a href="http://www.monash.edu.au/pubs/maps/2-Caulfieldcolour.pdf">www.monash.edu.au/pubs/maps/2-Caulfieldcolour.pdf</a>
クレイトンキャンパスの地図	<a href="http://www.monash.edu.au/pubs/maps/3-Claytoncolour.pdf">www.monash.edu.au/pubs/maps/3-Claytoncolour.pdf</a>
ペニンシュラキャンパスの地図	<a href="http://www.monash.edu.au/pubs/maps/6-Peninsulacolour.pdf">www.monash.edu.au/pubs/maps/6-Peninsulacolour.pdf</a>

## Q 6. 昼食を大学のカフェテリアなどで取る場合いくらくらい必要ですか？

キャンパスのカフェには、サンドイッチやパスタ等の温かい食べ物が6ドル前後、コーヒーが3ドルくらいで購入可能です。

## Q 7. ホームステイ宅には学生は何人いますか？

一家庭につき、日本人学生ひとりというのが基本です。同じ家に海外からの留学生がいる場合もありますが、その場合は本人を含めて3名までです。学生には勉強できる環境が整った一部屋が与えられます。ホームステイホストには色々なバックグラウンドがありますが、家の中では“必ず英語を話す”という家族を選んでおります。

**Q 8. ホームステイホストの情報はいつもらえますか？**

ホームステイホストの情報は、コースがスタートする2週間から4週間前に、大学の担当者へ E-mail に添付してお送りします。ホームステイホストのプロファイルと全学生ステイ先一覧表の2種類です。ホームステイホストのプロファイルには、氏名はもちろん、家族構成、住所、電話番号、ペットの有無（屋外か屋内）、ホームステイホストの趣味をはじめ、Home Rules や Reason Involved in Homestay、Welcome statement などが記載されています。各ホームステイホストメンバーの名前のとりに Type という項目があり、そこに Visitor や Family Friend が含まれていることがあります。Visitor とは家族の一員ではあるものの、事情により（進学、就職、結婚・離婚等）一緒に暮らしていないメンバーのことで、学生の滞在中にホームステイホスト宅を訪れたり、滞在したりする可能性があるメンバーです。また、Family Friend とはホームステイホストの友人で、学生の滞在中にホームステイホスト宅を訪れたり、滞在したりする可能性があるメンバーです。

**Q 9. Field Trip とはどんなものですか？**

メルボルン市内や景勝地を訪ねるものです。‘観光’という視点だけでなく‘授業の一環’として扱っています。またそのフィールドトリップの前には、サーベイやリサーチ、発表など担当教師によって異なりますが、予習&復習という形で必ず授業に何らかの形で組み込まれています。担当教師も必ず同行します。

**Q 10. Conversation Groups とはどのようなものですか？**

3名から4名の小グループにわかれ‘会話を楽しみながら英語力を伸ばそう’という時間です。お天気の良い日は教室からでリラックスした雰囲気の中で行われることもあり、それぞれが自分のことや趣味などを話したり、自分の住んでいる町や日本について説明したりと話題は色々です。

**Conversationalists はどのような人たちですか？**

現役の大学生から70歳までの国際交流に興味を持つ老若男女が150名ほど登録していて、中には日本で働いた経験もある人もいます。

**日本で何を準備したらよいですか？**

自分の家族のこと、自分が住んでいる町や市の人口や特徴、祭り、学校のことなど、自己紹介を含め、何か紹介したいことについて事前に少し調べてくるのがよいでしょう。これは、カンパセーションのみならず、クラスやホームステイを始めるにあたって役につくことです。

**Q 11. オプショナルツアーはどのようなものですか？**

季節によって提供するものが異なりますが、100ドル前後で、以下の日帰りのツアーを案内しています。他校の学生と一緒にいる場合もあります。最低催行人数がありますので、募集人数に満たない場合はキャンセルとなります。（プログラムによってはご紹介しない場合もあります）

- ペンギンツアー: 日没と同時に浜に帰ってくる世界一小さなペンギンを見るツアー。
- グレートオーシャンロード: 200キロにも及ぶ美しい海岸線と奇跡を見学。
- グランピアンズ: もののけ姫のバルコニーで有名な国立公園グランピアンズを回るツアーです。

**Q 12. Welcome lunch 及び、Farwell Function にできる食事はどのようなものですか？**

ウエルカムランチならびにフェアウエルファンクションともサンドイッチ、お菓子、ジュース、コーヒー・紅茶などの軽食です。プログラム・参加人数によってはご提供しない場合もあります。

**Q 13. クレジットカードやトラベラーズチェックは必要ですか？**

オーストラリアでは、クレジットカードでの買い物は一般的です。\$100程度でも高額ですし、安全性を考えると、まとまったお金を持ち歩くのはお勧めできません。クレジットカードがなくても支障はないので、こちらに来るために作成する必要はありませんが、すでに持っていれば役に立つと思います。特に長期のプログラムの場合は、旅行に行く時などに、クレジットカードで予約や支払いをすることもできるので便利です。

トラベラーズチェックですが、オーストラリアでは、使用できるお店やレストラン等が非常に限られていますので、到着後、銀行等の金融機関で換金する必要があります。現金で持ってくる場合は、紛失や盗難が起こらないように、きちんと管理をしてください。